

遺跡からみた 自然災害と福岡

入場無料

photo by Fumio Hashimoto

日時 平成25年10月12日(土) 13:30~16:30

講演① 「警固断層ならびに南海トラフ巨大地震の歴史からこれからのを考える」
岡村 眞 (高知大学特任教授)

講演② 「地震考古学への招待」
寒川 旭 (産業技術総合研究所客員研究員)

講演③ 「遺跡分布からみた福岡の環境変化と災害」
磯 望 (西南学院大学教授)

シンポジウム 「福岡の遺跡と環境変動・自然災害」

パネリスト：岡村 眞、寒川 旭、磯 望

司会：宮本一夫 (九州大学大学院教授)



会場 福岡市博物館 1階 講堂

〒814-0001 福岡市早良区百道浜三丁目 1-1 TEL 092-845-5011 / FAX 092-845-5019

※事前申し込みが必要です。

講師・シンポジウムパネリスト紹介



岡村 真 (おかむら まこと)

高知大学特任教授
1949年佐賀県生まれ。
東北大学大学院修士課程修了。
高知大学理学部教授を経て、同大学総合
研究センター防災部門長(現職)。

共著「津波堆積物からわかる南海地震の繰り返し」
(『科学』2012年2月号)
共著「博多湾における警固断層の活動履歴」
(『地震』2009年5月号)



寒川 旭 (さんがわ あきら)

産業技術総合研究所客員研究員
1947年香川県生まれ。
東北大学大学院博士課程修了。
通商産業省工業技術院地質調査所および
独立行政法人産業技術総合研究所主任研
究員を経て、現職。

『歴史から探る 21世紀の巨大地震』 (朝日新書 2013年)
『日本人はどんな大地震を経験してきたのか』
(平凡社新書 2011年)



磯 望 (いそのぞみ)

西南学院大学教授/福岡市史編集委員会
考古専門部会専門委員
1948年岩手県生まれ。
東京大学大学院博士課程満期退学。
西南学院大学文学部講師・助教授・教授
を経て、人間科学部教授(現職)。

共著『福岡平野の古環境と遺跡立地』
(九州大学出版会 1998年)
共著『太宰府市史 環境資料編』 (太宰府市 2001年)



宮本一夫 (みやもと かずお)

九州大学大学院教授/福岡市史編集委員
会考古専門部会長
1958年島根県生まれ。
京都大学大学院修士課程修了。
京都大学文学部助手、愛媛大学法文学部
助教授を経て、現職。

『農耕の起源を探る』 (吉川弘文館 2009年)
『中国の歴史 01 神話から歴史へ』 (講談社 2005年)

申し込み方法

- 往復ハガキでの申し込み (※1枚で2名まで申し込み可)
 - ・往復ハガキに氏名・住所・電話番号 (2人申し込みの場合は、2人分の氏名を併記)、返信はがきの宛先に申し込み者の郵便番号・住所・氏名を記入し、下記福岡市博物館市史編さん室あてに投函ください。
- メールフォームでの申し込み (※メールアドレスが必要です)
 - ・福岡市史ホームページ内のメールフォーム
<http://www.city.fukuoka.lg.jp/shishi/> に必要事項を記入して送信してください。
- メールでの申し込み (※フォームを利用せず直接メール送信)
 - ・メールのタイトルもしくは本文に「市史講演会申し込み」の旨を明記した上、本文に申し込み者の住所・氏名・電話番号・メールアドレスを記入し shishi.EPB@city.fukuoka.lg.jp あてに送信してください。
 - ・携帯メールでの申し込み可。ただし市史編さん室からの回答メール(2000字以内のテキストメール、当日の入場整理券をかねます)を受信できる機種に限ります。
- 締め切り 9月30日(月) 必着 (はがき、メール、フォーム共通)
- 申し込み・問い合わせ先
福岡市博物館 市史編さん室 市史講演会係
宛先: 〒814-0001 福岡市早良区百道浜三丁目1-1
E-mail: shishi.EPB@city.fukuoka.lg.jp
TEL 092-845-5245 (市史編さん室直通)


※10月1日以降に入場整理券をハガキで発送、またはメールで送信いたします。応募者多数の場合は抽選の上、結果をお知らせします。
※10月10日までにハガキまたはメールが到着していない場合は、お手数ですが市史編さん室までご連絡ください。

関連展示

自然と遺跡からみた福岡の歴史

会場: 福岡市博物館 2階企画展示室 4
会期: 10月1日(火)~12月15日(日)

福岡市史考古特別編『自然と遺跡からみた福岡の歴史』の刊行を記念して、「福岡市」の地形や景観などの環境の変遷、発掘された資料を最新の研究成果をもとに紹介します。



2013.11.3 日・祝 福岡市博物館が生まれ変わります。

1990年の開館以来、多くのみなさまに親しまれてきた常設展示室の内容を刷新。新しい感動を目指して初の全面リニューアル。